

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.27

平成28年 夏号

NPO法人 北九州テクノサポート 会長挨拶

石川 浩



本日は、第14回総会の開催に際しまして、正会員と賛助会員に加えまして、ご来賓の皆様には、ご多忙の中、多数のご出席を賜りまして、誠に有難うございました。北九州テクノサポート(以下KTSと称する)は、企業や行政で長い間培った知識と経験、幅広いネットワークを活用して「ものづくりの街」北九州地域の活性化に貢献したいという熱い志をもったシニア専門家集団として活動しております。KTSは平成15年4月にNPO法人化して以来、今年で14年目を迎えることになります。これもひとえに国、福岡県、北九州市の行政機関と関係団体、大学、高専、そして地域企業の皆様のご支援とお引き立てを頂いたお蔭であると深く感謝を申し上げます。

一昨年来、アベノミクスの「三本の矢」のうち、金融緩和で「円安・株高」が進み、企業業績は急回復し、雇用や賃金が改善し、消費や投資に波及する好循環が実現しつつあるかに見えましたが、消費税率8%への引き上げに加え、円安による食品などの値上がりで消費を抑え込み、堅調だった設備投資も1～3月期は横ばいに鈍化しており、中小企業を取り巻く環境は、厳しくなるものと考えられます。このような状況下で、我々KTSは中小企業の皆様のお役に立つ活動を積極的に生み出し、提案・展開して実効を上げて行く所存であり、関係各位の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。昨年度の活動実績並びに本年度の活動計画につきましては、第1号議題、2号議題でご報告いたしますので、ここでは省略させていただきますが、昨年は4月に北九州市で、10月に福岡県で、各々「中小企業振興条例」を制定され、関係諸機関の緊密な連携の必要性が示されており、我々としても会員の皆様との連携はもとより、中小企業の皆様並びに関係諸機関との連携をさらに深めると共に、従来の支援Grを見直し「技術経営ものづくり支援Gr」を立上げて活動を強化致しております。我々の活動を活気あるものにし、成果を確実にするためには、会員相互の連携強化が重要であり会員の皆様のご協力をお願いします。

Topics.1 平成28年度 北九州テクノサポート総会を開催

平成28年6月6日(月)に北九州テクノセンターにおきまして、平成28年度総会(第14回)が開催されました。冒頭、石川会長の挨拶につづいて議長選出の後、次の3つの議案について報告、採択が行われ、すべて異議なく了承されました。

第1号議案(平成27年度事業報告)

第2号議案(平成28年度事業計画)

第3号議案(役員改選)

平成27年度事業報告

平成27年度の日本経済は、政府の各種経済対策の効果で景気は緩やかに回復基調にあり、大企業を中心に企業収益は改善し、雇用・所得環境は緩やかに回復しているとされている。しかしながら、混迷を極める中東情勢が与える世界経済への影響や中国を始めとするアジア新興国等の景気の下振れにより、先行きは不透明な状況にあり、県内中小企業においても、取引先における生産拠点の海外シフト、人件費高騰と人材不足の深刻化需要の停滞と販売不振などで更に厳しさが増してきている。この様な環境下、NPO法人北九州テクノサポート(KTS)は、ものづくり技術の支援が出来るスタッフ集団であり微力ながら、ものづくり支援を通じ地域産業振興、まちづくりへの貢献を目指し、次のような活動を展開して来ました。(2ページに記載)



平成28年度NPO KTS総会風景

平成28年度事業計画

NPO法人北九州テクノサポートは「ものづくりの支援事業を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」の理念の下、支援を必要とする企業(特に中小企業)等の課題解決に協力して成長を応援し、北九州地域の一層の発展に貢献することを目指したい。さらに、これらの活動を北九州地域から県下、近隣県へと広げて行きたい。

進め方:北九州産業人材育成フォーラム事業支援、北九州商工会議所アドバイザー等を介して、KTS創立10周年を機に目指した5つの行動指針に沿って、各Gr相互協力の下に、各会員の保有する豊かな知識、経験、目利き力、人脈等を糧として具体的かつスピード感を持って、ものづくり中小企業を中心とする産業界や地域大学・高専の学界ニーズおよび国・県・市行政機関の施策に対応して行きます。

また、テクノフェア等の支援・省エネ取組支援、EA21の活動を通じて地元企業との関わりを深め、企業の成長に役立つ支援を行います。

(実施計画は6ページに記載)



NPO KTS会員・産学官有志一同

役員紹介

平成28年7月1日現在

会長

石川 浩

事務局長

小林 敏郎

副会長

重藤 将美、藤原 利久

山本 倅暉

各支援Gr.長

技術経営ものづくり支援Gr.長	石川 浩
産学官連携人材育成支援Gr.長	影山 隆雄
環境・省エネ支援Gr.長	山本 倅暉
ISO/EA21支援Gr.長	松尾 民憲
PC活用支援Gr.長	松隈 齊
販路開拓ビジネス支援Gr.長	藤原利久
広報・デザイン支援Gr.長	堤 増美
ICアクション21地域事務局福岡	藤原 成種

理事

石井 剛、石川 浩、江副 綏人、影山 隆雄、小林 敏郎、重藤 将美、堤 増美、藤崎 正昭、藤原 成種、藤原 利久、松尾 民憲、松隈 齊、山本 倅暉、吉田 剛

監事:磯村 福義、小野 晃一

平成28年6月6日総会で理事・監事が選任された



NPO KTS 懇親会風景

Topics.2



来賓挨拶：福岡県 商工部長 小島 良俊 様

北九州テクノサポートの第14期の通常総会のご盛会を心からお喜び申し上げます。

貴団体におかれましては、国内有数のものづくり拠点である北九州地域を中心に、「モノづくりの支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」との理念のもと、経験豊かな知識・技術を有する先輩方の力を結集し、ものづくりアドバイザー派遣等によりまして、技術開発・産学連携など、県内のものづくり産業の競争力強化に、多大なるご尽力をいただいております。

石川会長様をはじめ、関係者の皆様の熱意に対し、深く敬意を表しますとともに心から御礼申し上げます。

さて、九州の景気は新興国経済の減速などの影響が続く中、本年4月に発生いたしました熊本地震により生産設備が被災しました。

サプライチェーン障害などによる供給制約や需要減少により、生産は大幅に減少していますが、復旧・復興に向けた動きも徐々にではありますが始まっています。こうしたなか、県におきましては、県内の雇用の約8割を担う中小企業を総合的に支援するため、昨年10月に「福岡県中小企業振興条例」を制定し、人材の育成・確保、技術高度化の促進、新たな商品開発の促進などについて基本計画を策定し、企業の成長段階に応じた支援を行っていくこととしております。

今後とも、工業技術センターによる技術開発支援はもとより、新製品の開発を支援するものづくり補助金や企業を支えるものづくり人材の育成、また、グリーンアジア国際戦略総合特区制度の活用などを通じ、ものづくり中小企業の皆様を支援してまいります。また、本年3月には、「福岡県ものづくり中小企業推進会議」を設立しました。この推進会議では、成長に向けて自主的な取組を行う「ものづくり中小企業」に対し、行政や支援機関、業界団体等が一体となった支援を行うことで、本県ものづくりリーディング企業を創出していきます。ものづくり中小企業の皆様を力強く支援してまいりますので、是非ともご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に貴団体のさらなるご発展と、お集まりの皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたします。

代読 中小企業技術振興課 企画管理係長 堀之内 隆 様

平成27年度 事業報告／各支 グループの活動報告

平成27年度の主な活動

■主要活動実績は以下の通り（詳細は3・4ページをご覧ください）

- ・福岡ものづくりアドバイザー事業へ協力支援
(福岡ものづくり産業振興会議)
- ・北九州商工会議所のアドバイザー活動の推進
(北九州商工会議所)
- ・北九州地域産業人材育成事業
(北九州地域産業人材育成フォーラム)
- ・地域連携型インターンシップ支援事業
(北九州地域産業人材育成フォーラム)
- ・中小企業テクノフェアin九州2015販路開拓事業
(西日本産業貿易コンベンション協会)
- ・中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新補助金
(1次・2次公募) 書面審査業務 (福岡県中小企業中央会)
- ・戦略的基盤技術高度化支援事業の評価・支援事業
(九州経済産業局中小企業基盤整備機構九州支部)
- ・途上国向けマーケティング研修の講師業務
(公財)北九州国際技術協会
- ・「第4次産業革命」勉強会 (NPO-KTS、早稲田大学大学院)
- ・エコアクション導入セミナー、実践講座 (北九州市環境局環境モデル都市推進室、福岡県環境部環境保全課)
- ・地域中小企業の販売支援の実施 (地域の中小企業3社)
- ・広報誌(夏号/冬号)の発行 (県、市、FAIS、大学、KTS賛助会員、企業)

平成27年度各支援グループの活動報告

1. 産学連携関連の支援

地域企業のニーズにマッチした産学官連携活動支援事業をこれまで展開してきたが、その内容が多様化し、高度化してきたことから、年度途中ではあるが昨年12月に産学官人材育成支援と技術経営ものづくり支援にグループを分けることにしたが、ここではまとめて活動内容を示す。

・北九州の地域連携型インターンシップ事業では、コーディネーター(KTS会員)11名体制で北九州市周辺までエリアを拡大し250社の企業を訪問し受入れ企業95社を開拓した。

・(公財)北九州国際技術協力協会は、従来の途上国向け技能研修に加えて平成27年度からマーケティング研修を加えることになり先進国市場開拓に実績のある講師を派遣した。

・2015年は「第4次産業革命」元年と言われているが、会員もこの大きな流れを学んで中小企業支援に活かすべく自己研鑽の場を立ち上げた。

・技術経営ものづくり支援に関しては、福岡ものづくりアドバイザー事業をはじめ(公財)北九州産業学術推進機構や北九州商工会議所、福岡県中小企業振興センター、中小企業庁のミラサポ制度などの専門家派遣事業などを活用した中小企業支援を行った。

・中小企業庁が実施する中小企業・小規模事業者の競争力強化を支援し、経済活性化を実現する「平成26年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(1次公募)および(2次公募)の申請書の審査業務を実施した。

・九州経済産業局の戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)の中間評価業務並びに最終評価対象企業への支援業務を行った。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPRー募集中>

NPO-KTS通信誌Vol.27広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。



大光炉材株式会社

本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX: 093-883-2151
<http://www.taiko-ref.com>



当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有蘭 央



〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670
<http://www.arizono.co.jp/>

Topics.3



来賓挨拶：北九州市 産業経済局長 加茂野 秀一 様

平素は北九州市に対しご協力頂き有難う御座います。

会員の皆様におかれましてはその経験・スキルを活かし、いろいろな企業に対し技術支援を頂いたり、企業同士のビジネスマッチング等においても販売促進支援を頂いており、いろいろなご支援に対し厚くお礼申し上げます。

1年前にG7エネルギー大臣会合が有りまして大過無く終る事が出来ましたが、その中で環境エネルギーという色々な分野をご紹介する事に併せまして、この町の独創的技術製品についても世界にアピールする事が出来ました。これもひとえに皆さまのこれまで築いた技術の礎を作って頂いた賜物と思っており、深くお礼申し上げ非常に敬意を表しております。

さて北九州市としては、昨年度中小企業振興条例が作られまして、一層中小企業に対しての取り組みに力を入れる方向で頑張っているところで御座います。28年度の取り組みについては配布資料の活性ガイドブックに記載されておりますが、このガイドブックに記載されてない事例を1～2件紹介しますと1つには昨年に小倉駅新幹線口に、フアミットという民間のIoTを後援する施設が出来ました。面積は800㎡で東京のアパラボと言う会社が10億円程度を投資する予定ですが、今回東京以外で初めて作った設備です。作った理由はこの町の分厚いものづくりの素地が有ると言うことでものづくりをスタートする企業を支援するために作ってくれました。この様な機運に於いて北九州高専様と話し、塚本校長先生と北橋市長が連携を結び、具体的には高専にあるものづくりセンター49種のマシンを使ってスタートし、思っているものをプロトタイプで作る事を始めました。この後の製品化については皆さまのお力が必要と思っております、その他に、ものづくりに力を入れたいがバックオフィス業務に時間を要する事によりフィンテックの最右翼のマナーフォワードさんと提携して中小企業に対して売掛金等処理の関するシステムをご紹介する事も考えております。

この様に中小企業に対する支援を北九州市としても頑張っていこうと思っておりますので、是非テクノサポートの皆様にもご協力頂きたいと思っております。

むすびに、テクノサポートのご発展と、ご健勝を祈念して挨拶と致します。

平成27年度 各支援グループの活動実績

2. 環境技術関連の支援

1) 中小企業テクノフェアin九州2015

(公財)西日本産業貿易コンベンション協会主催の「ビジネスマッチング(BM)支援事業」を、NPO法人北九州テクノサポート(以下KTS)が7年連続で受託した。BM事業支援を行う展示会は全国でも貴重な存在で、更に、今年度はKTSが初めて出展誘致活動を行い、インテック大阪「新価値創造展2015in関西」展の出展企業3社を誘致した。

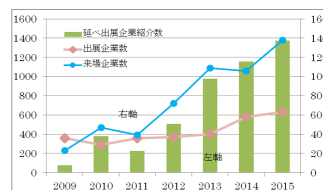
出展20%以上の環境・省エネ企業にも注力する。7年で出展企業数は30社が2倍以上の63社、面談商談件数は7倍以上の実績だった。出展企業の「売り」の理解と提供が最重要であり名刺交換数200枚以上の企業やBMの実績も活発であった。販売支援Grや技術経営ものづくり支援Grとも共同して推進している。北九州・下関・遠賀等の商工会議所・商工会も出展支援に加わり地域に活気が出ている。

2) 北九州商工会議所のモノづくりアドバイザー

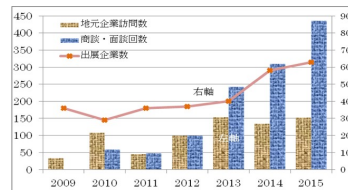
H27年度は32件と増え協力支援が活性化した。更に苅田・下関商工会議所等とのビジネス支援や交流により商工会議所のテクノフェア展示支援実績を小規模企業支援にも広げる。

3) 環境支援活動

北九州テクノサポートとして北九州市及び福岡県での様々な環境課題の中で技術的に調査・研究・分析・改善・創造して解決すべく他のNPOや協会と協働して取り組もうと企画している。



テクノフェア延べ出展企業紹介数



テクノフェア商談・面談企業数

3. エコアクション21地域事務局福岡

- ①北九州市実践講座及び福岡県集合コンサルティングを2回開催した。導入セミナーを1回開催した。
- ②事業者からの審査申し込みを受け、審査人を選任、判定委員会を開催審議し、審議結果を中央事務局宛報告・コメントに対応をした。
- ③EA21認証取得事業者フォローアップセミナーを開催した。
- ④エコアクション21認証登録事業者のうち、市長から感謝状を授与する事業者を選考し、2事業者を市へ上申し感謝状を授与された。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

＜製品、技術、開発、人材などに関するPRー募集中＞

NPO-KTS通信誌Vol.27広告3-4

カースル株式会社

福岡県の一貫した生産管理で安心の品質をお届けします
家庭用・業務用フィルター製造販売

URL: <http://www.casle.co.jp>

■特殊フィルターの特性試験
平成26年3月に、ベッターナの集塵試験を一般財団法人カケンテストセンターに依頼したところ、PM0.1(0.1マイクローメートル)の超微小粒子の捕集効率が75.5%という試験結果が得られました。

代表取締役
渡邊 健司
Kenji Watanabe
〒800-0115
北九州市門司区新門司1丁目9-6
TEL:093-481-1212

PM2.5粒子状物質も捕集する
ベッターナ フィルター
<http://www.casle.co.jp/campaign/pm01.html>

株式会社コーセイジャパン

(新商品) 低コスト高効率LED照明

当社は、高効率LED照明や省エネ安定器等の開発および製造を行い、全国で販売を実施しております。

この度、福岡県工業技術センター機械電子研究所との共同開発で、CAE(熱流体解析、照明解析)を活用し、最適なヒートシンクとリフレクタの設計、温度と照度特性測定、構造の見直しおよび部品の共通化を図ることで、30%のコストダウンが実現しました。

本開発による事業拡大を目指して、昨年東京営業所を新設(1名新規雇用)、今春に本社新社屋(福岡県田町)を建設し、新型LED照明の生産および品質管理の強化を図っております。

〒800-0315 福岡県京都市都府町田町港町8-11
TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141

エコアクション21
認証登録番号
0008225

限りある資源を未来に地球環境に貢献

意匠登録1537579号
実用新案第3197902号

Topics.4



来賓挨拶:公益財団法人 北九州産業学術推進機構 中小企業センター長 櫃本 礼二 様

このたびは、特定非営利法人北九州テクノサポートの通常総会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

貴会におかれては、設立以来、地域企業の支援や産業振興や産学連携のコーディネート活動など幅広く活躍され、北九州地域の産業の振興に大いに貢献されております。また、日頃より「公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)」の事業に対して、ご理解・ご協力賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

FAISでは、北九州市が策定した「北九州市新成長戦略」の目標像である「新たな技術と豊かな生活を創り出すアジアの先端産業都市」の実現に向けて地域産業の知的基盤である学研都市を中心とした地域企業の技術開発とその支援、また中小企業支援センターでは、経営相談、専門家派遣、中小企業向けセミナー等の取り組みを進め、中小企業の経営支援に取り組んでいます。

今後さらに、地域企業の優れた製品等の販売支援、商談会の開催など進めていくとともに、きめ細かい創業支援を行い、地域企業のビジネスチャンス拡大、ひいては地域経済の活性化につなげたいと考えています。北九州テクノサポートの皆様には、企業OBとしての豊富な経験や技術、専門知識を生かして、私共の活動への支援を含め、今後とも、大きな力をお貸しして頂きたいと思っております。

最後になりますが、特定非営利法人北九州テクノサポートの皆さま方のさらなるご活躍と、貴会のますますのご発展を祈念致しまして、挨拶とさせていただきます。

代読 中小企業センター 経営支援 課長 田村 正幸 様

平成27年度 各支援グループの活動実績

4. ISO・EA21支援Gr.

ISO支援活動は、平成27年度活動計画の結果では支援コンサルの受注として、「ISO9001:2015新規構築支援コンサル」、「マネジメントシステムを活用したヒューマンエラー防止セミナー」の実績:2件であった。

- ・これはISO規格改正が平成27年11月にずれ込んだこと。
- ・コンサル対象企業がISO認証機関より改正規格への支援研修、或は実施済み、及び認証登録後の活動が永い企業が多く活動レベルも高い現状にあった。
- ・前回(2000年版)のISO規格改正の経験による企業の自社能力が高くなっている実態に併せて企業への情報不足もあり営業活動が的確に出来がたい状況もあった。
- ・ISOビジネスに対する市場競争が益々熾烈化している実態にある。

この活動結果を踏まえて次年度の活動展開の行動指針としては、対象企業の綿密な情報収集、支援活動の質の高さ、及びコンサル料金の最適性が受注獲得の要件とされ、今後の活動課題として継続的に維持したい。EA21活動については、小規模企業の活動認識や社会的貢献など希薄な現状であるが、地域事務局が中核となり「エコアクション21導入セミナー、自治体イニシアティブプログラム実践講座、ホームページによる広報、団体普及協力要請・市町村への普及活動」など鋭意実施した。これら活動の支援として所属している審査人の協力により、新規企業の獲得及び審査による収入の確保など事業活動による一定の成果と信頼を継続している。

- ・審査人に不可欠な審査技術やコンサルティング技術の共有化、レベルアップを目指した相互研鑽は4回実施した。
- ・EA21のPR活動では、定期発行の「エコアクション21だより(KTS通信瓦版)」の10号を発行、認証取得事業者への北九州市長感謝状授与など認知度の向上・普及、認証登録事業者の活動紹介支援などを継続的に実施した。

5. 販売支援Gr.

楽々サービス(株)の「楽々ミニゴルフ・ゲーム機」、(株)加来野製作所の「小型万能乾燥機」、(株)カースルの「POPビジョン&LED看板」の3社の商品の販売に取り組んだ結果、楽々ミニゴルフ・ゲーム機1台、POPビジョン&LED看板1式を販売した。

西日本産業貿易コンベンション協会の「中小企業テクノフェアin九州2015」ビジネスマッチング(BM)支援事業として、本年度は7年連続受託しKTSが誘致した大阪からの企業など含めて過去最大の63社の展示があった。また、今年も昨年に引き続き出展社説明会を開催して展示商品の内容を充分理解し、それに伴ってBMの実績も大きく増加した。

6. IT支援Gr.

主にKTS内のIT関連業務のサポートを行った。

- ・ホームページの編集に関する勉強会を行い、KTSの掲載ページの差し替えなど簡単な編集はできるようになった。
- ・インターネットによる広報事業及びKTS内ITシステム管理は従来どおり推進した。
- ・KTSとしての大きな事業である「インターンシップ支援活動」や「中小企業テクノフェアin九州2015」におけるビジネスマッチング支援事業の進捗管理や集計作業を支援した。
- ・本年1月度の理事会後には「PC活用勉強会」を実施し、出席の理事および任意参加者を対象に、エクセルの機能を活用した少し高度なデータ処理事例を紹介した。この狙いは出席者各人が関係する中小企業のニーズを探り、KTSの会員が「福岡ものづくりアドバイザー」制度や「北九州商工会議所アドバイザー」制度を使って格安(無料)で支援できると紹介を意図したもので、会員の活動の場を広げるために実施した。

7. 広報支援Gr NPO法人北九州テクノサポートの認知度を高めるための広報誌「NPO法人北九州テクノサポート通信」を年2回作成し、自治体等の各機関・業界団体・組合・企業等への広報媒体として活用した。広報活動については、我々の活動や国・行政からの各種支援等の情報を顧客へ伝え得るようにNPO法人北九州テクノサポートの案内パンフレットを作成し、自治体等の各機関・業界団体・組合・企業等への広報活動を展開した。また、情報交換の場としてホームページの掲載情報の充実を進めた。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS通信誌Vol.27広告5-6

ニシイってどんな会社?
あんな場所やこんなことで
ニシイが活躍してます!

<http://nishii.co.jp>

株式会社 ニシイ

福岡市博多区東比恵3丁目4番6号
電話: 092-415-4518
メール: mail@nishii.co.jp

Since 1944
次の100年へ

千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>

特別講演会

演題:「多様な交流による教育研究力の深化へ」 講演者:九州工業大学学長 尾家祐二 様



本日は、このような席にお招きいただきましてありがとうございます。タイトルは固いですが、初めて参りましたので、自己紹介と九州工業大学（以下、九工大）の今はどんな状況で、どこに向かおうとしているのか、お話ししたいと思います。

1. 私の経歴と情報通信分野での産学官連携の取組み

私は長崎県佐世保市出身で、昭和55年京都大学大学院数理工学専攻課程を修了後、日本電装㈱に入社して量産2輪車としては世界初の電子制御装置の開発に携わりましたが、昭和58年、親の事情で実家に戻り佐世保工業高等専門学校で教職に就くことになりました。その後、平成2年九工大情報工学部に転じ、平成9年には奈良先端科学技術大学院大学への転任・併任も含めて九工大で長年に亘って情報通信工学教育・研究に携わり、最近では理事として大学全体の教育・情報、大学改革担当に就き、本年4月学長に就任して現在に至っています。私は、情報通信工学分野において数々の産学官連携活動を行って参りました。まず、平成12年に設立した「九州インターネットプロジェクト」(QBP)は、情報通信技術分野において、技術者、研究者の情報交換や協議の場をつくり、研究開発並びに実証実験を行い、各種機器の開発への貢献、さらには世界標準化への寄与を目指すとともに、新規ビジネス創出と人材育成を図る産学官連携の取組みです。QBPワークショップは、当初、参加者が10名程度だったのが今日では100名を超え大きく進展しています。平成18年からはQBPの北九州ICTインテリジェントエリア実験などに大学のPBL (Project Based Learning)を活用した新たな産学官連携を展開しています。次は、平成19年に設立した九州情報通信連携推進協議会 (KIAI: Kyushu Island Alliance of ICT) を通じた九州における地域情報化と次世代高度ネットワーク化を推進する広域の産学官連携の取組みです。この活動の好事例としては「九州ホワイトスペース利活用検討研究会」でテレビ放送の空周波数の移動体(車)通信への有効利用実験を宮崎県でトヨタIT開発センターと行い、その研究開発状況を会員と共有、交流を拡げました。

2. 九工大の今

大学構成は戸畑、飯塚、若松の3キャンパスで在学学生数約5,800名です(女子学生比率14%。外国人留学生増加傾向)。平成24年以降、激しく変化する社会において大学の機能の再構築が強く求められ、各国立大学は、大学改革の立案とその実行を進めています。平成25年、九工大は「社会と協働する教育研究のインタラクティブ化の加速パッケージ」を掲げて、グローバル化した社会の中で、活躍し続けることができる技術者(グローバル・エンジニア)に必要な要素をグローバル・コンピテンシー (GCE:Global Competency for Engineer)と定義づけ、それを有した技術者を養成する教育パッケージを開発・推進しています。グローバルに活躍する技術者に求められるコンピテンシーの要素は、①多様な文化の受容、②コミュニケーション力、③. 自立的学習力、④. 課題発見・解決力、⑤. デザイン力です。これらを身につけるためにA.海外学習体験、B.海外インターンシップ、C.グローバル教養教育、D.語学教育、E.留学生との協働学習でグローバル人材育成に当たっています。

また、正課外学習として学生グループの自主的かつ夢のある活動に対して活動費を支援する「学生プロジェクト」や「萌芽プロジェクト」等を進めています。これは、課題探求とその解決能力を涵養し、工学基礎力と共にコミュニケーション能力を身に付け、先導的リーダーシップを発揮できる創造的人材の育成を目的としています。

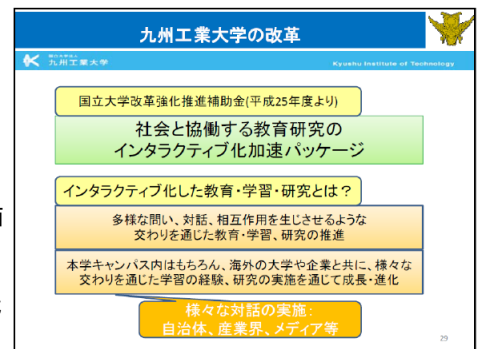
知の創造としての研究活動には、学術の発展のための研究と社会の発展のための研究という側面があります。本学では、環境・エネルギー、宇宙、LSI、ネットワーク、ロボット等11の重点研究センターを設置し、多様な研究活動を推進するとともに、産業界のパートナーとして行う研究活動も積極的に推進します。特に本学は、自動車・ロボットの高度化・知能化に向けた専門人材育成連携大学院の代表校として技術開発と人材育成を進めています。

3. 今後の計画 ～平成30年度の学科の再編と類別入試～

平成30年度に改組を予定しています。目的は、「社会ニーズに柔軟に対応できる体制構築」、「学生の適性を見極めた専門分野の決定」、そして「本学の有する特色を活かし、強みをさらに強化」です。特に30年度入試については、工学部及び情報工学部でそれぞれ類別の入試を実施します。入学者は、類に所属し共通教育を受けた後、適性や興味等に応じた進路選択を行い学科へ所属して専門的な学修を行います。また、学科についても産業構造の変化や社会ニーズに対応する再編成とコースの設定を行うと共に学生の卒業後の出口を広げるような教育分野の導入を図ります。

4. 展望 ～インタラクティブなキャンパスでダイナミックに～

大学の向かう方向としては、インタラクティブな(交わりのある一交流のある一対話のある)キャンパスにしたい。大学の境界を拡げてダイナミックな組織になりたいと思っています。従って、「共同研究講座」の制度も作りしました。これはキャンパスの中に企業の方に来て貰い、そこで本学の教員と共同研究するという制度です。是非興味を持って頂けたらと思います。数社と一緒に、学生も巻き込んで育てて行くなど色々なやり方があると思うので接点があれば声をかけて貰いたい。タコつぼに入っていたら自分のことが判らない。外とのやり取りの中で自分が何者かが判って、更に、あるべき姿を大学としても見つけていく。こういう方向でこれからの九工大を魅力あるものにしていきたいと思いますので、皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPRー募集中>
NPO-KTS通信誌Vol.27広告7-8

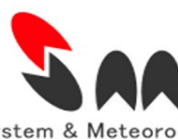


すなおに誠意に無限の未来をひらいていこう
株式会社 豊洋製作所



水栓金具部品及び医療機器部品の開発・製造にISOマネジメントシステムを適用した仕組みを実践し、環境改善にエコアクション21を運用・活用

◆代表者 取締役社長 小河原 悟
◆本社・工場: 福岡県京都郡苅田町鳥越町1-44
TEL 093-436-5200
FAX 093-436-5207
http://www.hoyo-s.co.jp



システム 気象予報会社
気象庁予報業務許可 第51号

感動を創造する
気象予報会社です。

私たちの仕事は、地球と真正面から向き合う仕事。

最新のテクノロジーと豊富な経験が必要。

私たちシステム株式会社は、そのどちらもうまく、気象に関する皆さまのあらゆるニーズに応えていきます。



向島 システム株式会社
所在地 〒802-0979
北九州小倉南区御力町2丁目8番11号
TEL: (093) 965-1033 FAX: (093) 965-1055
URL: http://www.sysmet.co.jp/

平成28年度 事業計画

運営方針：創立から10周年を機に、5つの行動指針を設けて取り組み、昨年度は、商工会議所等のアドバイザー登録更新増、企業のIT課題解決、新製品の販売直接支援や入会勧誘案内紙の更新、HPリニューアル等により新入会員増等の成果を得た。本年度も、引き続きこれらの活動を一層活発化してKTS全体としてのパワーアップを図っていく。

- ①中小企業への直接支援の拡充 ②受け身からの脱却
③知名度向上と新規会員の獲得 ④支援業務フローとネットワークの構築
⑤EA21登録企業数の拡大

1. 技術経営ものづくり支援Gr

(1)中小企業の技術経営ニーズに的確に対応・幅広い視野で支援

- 1) 技術課題の解決及び技術改善・革新
- 2) 経営体質改善(生産管理・品質管理・コストダウン)
ものづくり生産現場の改善・自動化(ロボット導入等々)
- 3) 新製品・新技術開発(固有技術の改良改善～新技術開発～新製品開発)
- 4) 販路拡大・新規開拓への支援(新製品及び商品の販路開拓)

(2)従来の「技術課題に主眼を置いた支援活動」から更に「幅広く経営体質の改善・改良支援へと活動を広げ、経営体質向上を目指した支援を展開する。

(3)最終目標を「ものづくりの街 北九州」の特徴を生かし、「知恵の時代」に相応しい優れた「未来型産業都市」に寄与する活動として展開したい。技術枠にとらわれない相互連携した統合技術を持って、北九州地域に未来の基幹産業を誘致し、北九州地域の中小企業が持つ優れた固有技術(製作・加工技術、計測・検査技術、等)を集約した新商品開発・販売会社が生まれるようにしたい。

2. 産学官連携人材育成支援Gr

(1)競争力ある企業、成長力ある産業、活力ある地域を目指して北九州地域が持続的な発展を続けて行くため、大学界と産業界、教育分野と地域社会が支え合いながら「産業人材育成の推進とその育成システムの構築」を図る『北九州地域産業人材育成フォーラム』への積極的な支援を行う。

(2)(公財)北九州国際技術協力協会(KITA)からの要請に基づき途上国向けマーケティング研修に先進国市場開拓に実績のある講師を派遣する。

(3)「第4次産業革命」に係るIoT、M2M、AI、クラウドなどの要素技術活用は、会員研鑽の場を通じて中小企業支援のレベルアップを図る。地域企業や大学、北九州市や福岡県にも研鑽の場に参加を呼びかけ、新事業創出や関連助成事業への申請支援等を行う。

3. 環境・省エネ支援Gr

(1)環境助成事業

北九州市・福岡県を対象とした公害対策、自然エネルギー活用、農山漁村の保全活動、リサイクル、大気・水・土壌の自然環境浄化、公共の福祉向上、防災の対策、環境教育等の環境課題に於いて技術的な調査・分析・研究・開発・実践を行うため、官民の助成事業に公募し取組む。

(2)省エネ支援事業

EA21等のKTS活動と協力しながら比較的エネルギー消費の大きい企業の省エネ支援のテーマ探索を行う。その中で具体的な案件を掘り起こし、省エネセンターとの連携で診断案件を開拓する。設備投資等へ繋がるような相手先(照明のLED化等)を見つけ、地域のメーカと協力して実現につなげる。併せて、指定工場等で必要のある中小企業に対して、①定期報告書作成支援、②管理標準作成の支援を行う。

4. ISO/EA21支援Gr

ISO認証登録企業は、平成27年末の国際規格改正に伴い、日常業務とマネジメントシステムの融合が大きな課題となってきた。このシステム運営に際しては、事業計画との一体化による「守りのシステム」からリスク管理を主体とした「攻めのシステム」への再構築を要求されている。そこで、事業活動に今一歩有意的に役立つISOマネジメントシステム活動

への支援策として、H27年度計画を維持継続した有効的な取組みを鋭意促進すること、及びEA21活動普及・有効な審査の実践し、EA21地域事務局と連携した支援活動を行う。併せて、ISO認証登録企業を含め対象企業の綿密な情報収集に努め、支援先の拡大と質の高い支援活動を実施する。

5. PC活用支援Gr

活動内容はこれまで同様、PC(パソコン)を使いこなせずにいる地域の中小企業の皆さんが日頃から扱っている受注、生産、在庫等の実績管理データを自社ニーズに合わせ、エクセルを使って思い通りに、素早く処理する活用方法の支援を推進したい。また、自社のホームページの変更修正のために高額な費用を支払って更新している企業のために安価に支援を行う。KTSの重要な広報手段となるホームページのアップデートをグループ会員が手分けして行える体制を整える。

6. 販路開拓ビジネス支援Gr

(1)新しい支援活動も含めて8年連続の中小企業テクノフェア2016のビジネスマッチング(BM)支援を行う。

(2)従来の商品販売活動を更に活性化化する。

(3)BM・販路開拓・商品販売の支援を連携して総合力を発揮する。

(4)北九州商工会議所がH27年11月に県で第1号の中小企業庁「経営発達支援計画」の認定を受けた。これにより「伴送型小規模事業者支援推進事業補助金」を申請し承認の見込みである。この支援を行い小規模企業の活性化に寄与する。

(5)地方創生や中小及び小規模企業への行政や商工会議所等への支援事業を積極して行い地域活性化に貢献する。

7. 広報・デザイン支援Gr

(1)NPO法人北九州テクノサポートの認知度を高めるための広報誌

「KTS通信誌」を年2回発行。

(2)KTSの活動や情報を伝達する媒体「NPO法人北九州テクノサポート案内」パンフレットを更新。

(3)KTSの活動支援内容をPRするための情報発信を各支援Grと連携

(4)賛助会員、協力企業等の広報・広告・デザイン等の支援。

(5)販売開拓支援Grが参画する「中小企業テクノフェアin九州」の展示。

8. エコアクション21地域事務局福岡

(1)自治体イニシアティブ・プログラム(北九州市実践講座及び福岡県集合コンサルティング)を開催する。あわせて導入セミナーを開催する。

(2)認証・登録業務を円滑に推進する。

(3)九州ブロック地域事務局主催で、審査人員向上研修会を開催。

(4)EA21認証取得事業者フォローアップセミナーを開催する。エコアクション21認証登録事業者のうち、北九州市長から感謝状を授与される事業者を選考・上申する。

KPECの主な活動

もったいない総研
真にゆとりのある21世紀のライフスタイルを求める研究所「もったいない総研」へようこそ!

産業人材育成
北九州地域の中心・中小企業と地元理系大学生をつなげる地域ぐるみの産業人材育成

小学校支援
子どもの教育を企業も一緒にサポート! 積極的に支援します!

1000人の夢資金
北九州をもっと盛り上げ! このまちの輝かしい未来を一緒に育てませんか?

北九州イノベーションギャラリー
技術とデザインを融合させ、数々のイノベーションを生み出した北九州の先人の知の遺産

まちづくり推進事業
市民・団体・大学・行政機関等の連携として北九州の街づくりのための環境づくりを行っています

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPRー募集中>

NPO-KTS通信誌Vol.27広告9-11

【経験豊かな専門家が工場の問題解決のお手伝いを致します】
株式会社 エステック21

工場の環境負荷低減(エコロジー)や、
トータルコストダウン(エコノミー)を
提案します。(例:潤滑、ミスト等)

優れた製品・技術(メーカー)と
エコロジー & エコノミー
をダブルで実現!!
商社と工場が協力して

〒811-4343
福岡県遠賀郡遠賀町田園3-2-27
TEL & FAX: 093-293-6431
URL: http://www.s-tech21.biz/
E-mail: info@s-tech21.biz

株式会社 マツシマ メジャテック

計る×技術で世界に向けて

〒807-0837 北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
URL http://www.matsushima-m-tech.com
E-Mail sales@matsushima-m-tech.com

平成28年度 事業活動開始状況

■「国公募の補助金申請」に関わる支援活動

平成27年度補正予算「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」(5社)・「地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金」(1社)等の公募申請書の書き方等の指導と支援を行っている。

～北九州商工会議所と協働で継続支援～ (重藤・松隈・吉田)

■「新事業開発・補助金」の申請

環境助成事業は11月末迄民間団体の公募が多数あるので、大学・NPO等と協働して、地域の森林保全と利活用、外来種・害鳥獣の駆逐駆除、農産物・魚類等の残渣の利用、再生可能エネルギーの普及促進、高齢者福祉向上、防災対策等の調査・実践のための課題を纏めて申請し、技術的な効果に基ずく環境改善として地域貢献に取り組む。(山本・石井・江副)

■「省エネ支援」勉強会

今年から活動を開始したばかりであり、省エネの勉強会から開始した。

省エネ推進の国の方針等の説明や一般財団法人「省エネルギーセンター」に登録している会員が取組んでいる仕事、H28年度省エネ関係補助金の概要について説明した。10名を超える参加者があり、これから地元ニーズを掘り起こす取組について議論した。

(吉田・山本・石井)



省エネ勉強会

■「北九州テクノフェアin2016」キックオフ

今年度から新たな販路開拓ビジネス支援グループとして活動する。中小企業・小規模事業者の活力が一段と地域創生や地域活性化に重要となり、主催の(公財)西日本産業貿易コンベンション協会より8年連続の中小企業テクノフェアin九州2016(10/12～14)のビジネスマッチング(BM)の支援を受注した。過去最高の19名の支援コーディネーターによるキックオフミーティングを5/24に開催した。新しい取組は出展企業ニーズの調査、金沢市の機械見本市(5/19～20)への出展企業誘致(地元企業誘致も含む)及びBM支援実績により出展企業との商品販売契約を行うことである。更に、行政や商工会議所から中小企業・小規模事業者の支援要請もあり地域創生や地域活性化に貢献する。(藤原利・山本)



■「北九州地域産業人材育成事業2016」協力支援

本事業も6年目を迎え、「地域連携型インターンシップ」推進するため4/1～6/15までKTSコーディネーター12名体制で北九州市周辺までエリアを拡大し226社のものづくり企業を訪問し受入れ企業開拓を実施。

既に受入企業も約100社に達し5校の学生に情報が公開されており準備が着々と進んでいる。

5月26日、北九州国際会議場にて「インターンシップ実践セミナー」を開催し、企業における事例発表と経営戦略としてのパネルディスカッションが行われた。

6月8日には、ひびきの北九大キャンパスに於いて北九大・早稲田の2校の学生24名に対し、企業9社、KTS11名で「インターンシップ・ミーティング」が実施された。

6月11日には、西工大小倉キャンパスに於いて九工大・西工大・北九州高専の3校の学生50名に対し、企業15社、KTS10名で「インターンシップ・ミーティング」が実施された。

各企業別グループに別れて学生と参加企業の担当者とのインターンシップの内容について、具体的説明と学生からの質問・疑問等について自由討議、意見交換等が行われた。

企業におけるインターンシップの実施は、8月16日から9月30日の間で行われます。参加校は「九州工業大学・北九大国際環境工学部・西日本工業大学・早稲田大学・北九州高専」の学生さんがものづくり企業の現場で研修体験をされます。(重藤)

■「第4次産業革命」勉強会

IoTやクラウド、AIを活用して、生産性を高める取組みが始まっています。このような新しい技術動向を勉強して中小企業支援に活かして行くことが重要と考えて平成28年1月から隔月開催の自己研鑽の場として「第4次産業革命」勉強会を立ち上げています。写真は北九州市や企業関係者を含めた第3回勉強会の様子です。

(影山・藤崎)



第3回勉強会

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で 世界をリードする金型専門メーカー



Uchida Co., Ltd.

株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 祥嗣

九州工場 〒823-0011 福岡県若宮市宮田542-38
TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146
本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町12-6
TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839
E-mail: info@uchidanet.co.jp
URL: http://www.uchidanet.co.jp



道路トンネル検査点検専用車両



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原1-8-3

TEL: 093(642)8231

FAX: 093(641)2010

http://www.keisokukenza.co.jp

微美 創造企業 MEMS SOLUTION

【事業：超精密金型部品の製造】

我々は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか？」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。

これからも「お客様の喜び＝我社の喜び」を追い続けていきます。



株式会社ワークス 代表取締役 三重野 計滋(みえの けいじ)

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel: 093-291-1778 Fax: 093-291-2728
E-mail: info@wks-co.com http://www.wks-co.com

建造物に美を添える”研磨”という芸術



東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD.

計測検査株式会社

平成28年6月、影山理事・堤理事が同社を訪問し、坂本社長からお話を伺いました。

■会社の沿革と業況



当社は、昭和49年(1974年)に各種構造物・機械設備等の総合的設備診断を行う会社として北九州市に設立しました。非破壊検査を主とした検査部、応力・振動測定を主とした計測部を中心に業務を行ってきました。その後、平成11年(1999年)の新幹線福岡トンネルの崩落事故をきっかけにトンネルの覆工面を撮影し、解析する構造調査部と金属組織や成分分析を行う技術部を加え、現在は4部門で業務を行っています。

交通規制を行わずに高速走行によりトンネル壁面の画像処理ができる車両(MIMM ミーム)を三菱電機株式会社と共同開発し、この車両を3台保有して全国のトンネルの診断を行っています。当社は、以前計測したトンネル壁面画像との重ね合わせが可能でひび割れや凹凸の経年変化の様子を把握して迅速に的確な診断を提供できます。

■今後の展開

高度成長期に建設された多くのトンネルや橋梁・ダム・高速鉄道などの社会資本は、予防保全の考え方を導入した維持管理・更新の手法により、費用の縮減を図ることが喫緊の課題になっています。同時に設計時の想定を上回る豪雨や地震による社会資本の変状に迅速に対応することも重要な課題となっています。当社は、これらの新しい課題に対応するためドローンやIoT、クラウドを活用したモニタリング監視システムを実用化して、100億円企業を目指します。

■KTSへの期待

中小企業は日々、新製品、新技術、新事業の開発を行っています。KTS 会員様の人脈、技術を活かし、販売支援や開発支援等、中小企業で不足している部分の幅広いご支援をお願いいたします。



◇会社概要

■本 社：〒807-0821 北九州市八幡西区陣原1丁目8番3号
TEL:093-642-8231 FAX:093-641-2010
■代表者：代表取締役 坂本 敏弘 ■設 立：昭和49年11月
■資本金：3,000万円 ■従業員：101名
■事業内容：1.非破壊検査 2.材料評価 3.構造解析 4.応力測定 5.振動測定
6.土木計測 7.環境関連計測 8.道路トンネル 等コンクリート構造物の調査
URL <http://www.keisokukensa.co.jp/>

アイム電機工業株式会社

平成28年5月30日に石川会長が水巻工場(遠賀郡水巻町)を訪問し、川野取締役管理部長より懇切丁寧なお話をお聞きした後、工場見学を行いました。

■会社の沿革と業容

当社は、1954年、エポキシ樹脂による電動機絶縁技術確立し、独自で開発したメカニカルシール技術を炭坑用防爆型水中ポンプに採用し、アイム水中ポンプの歴史の1ページを開いた。当社の商標「EIM」は創業時に他社に先駆けて開発したEpoxy Insulated Motor(エポキシ樹脂絶縁モーター)に由来している。以来今日でも「防爆型水中ポンプ」では国内トップの納入実績実績を有している。

納入先は産業界及び公共事業を主力としているが、一方、積極的に海外規格の取得を行っており、香港、タイ、の現地法人を中心に海外売上比率は30%、販売先は30か所以上に及んでいる。また、水巻工場は、1999年に品質保証システムの国際規格「ISO9001」の認証を取得し、客先へ信頼される高品質の製品を提供している。

■今後の展開と課題

産業界(工場ライン、発電所)、インフラ用(下水道、河川および施設給排水、建設等)の水中ポンプ並びに水中モーターとその周辺機器の専門メーカーとして、これからもあらゆるニーズに対応すべく、当社の技術力を存続・発展させていく所存であるとのこと。主力製品の「水中ポンプ」は一般的に知られる「陸上型のポンプ」に比べ小型化、低コスト化が図れる付加価値の高い工業製品であり、当社は、用途、能力別に業界トップクラスの品揃えを持ち、更に、近年では客先のニーズを反映した大型の「オーダーメイド型ポンプ」に注力しており、業界内でユニークな存在である。尚、当社は「北九州産業人材育成フォーラム」主催のインターンシップ事業に、毎年参加すると共に、九工大の「社会人ドクター」コースにも積極的に対応を検討して頂いております。

■KTSへの期待

水中ポンプ、水中モーター及びその応用製品のスペシャリストとして、常に新技術の研鑽に努めて参りました。その技術の継承と更なる展開のために良い人材の育成が必要であり、「北九州産業人材育成フォーラム」を活用していきたいと考えております。



◇会社概要

■本 社：〒806-0004 福岡県北九州市八幡西区黒崎白石3-4
TEL:093-644-2011 FAX:093-202-1288
■水巻工場：〒807-0001 福岡県遠賀郡水巻町猪熊10丁目2番16号
TEL:093-202-4141 FAX:093-202-1288
■代表者：代表取締役社長 小野隆二郎 ■設 立：昭和29年7月7日
■資本金：8,740万円 ■従業員：120名
■事業内容：水中ポンプ、水中モーター、陸上ポンプ 水処理関連機器
URL <http://www.eimpump.co.jp/>
E-mail: ryujiro_ono@eimpump.co.jp

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからが本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■会員・賛助会員の会費

・正会員入会金:5,000円/年会費:5,000円
・賛助会員(法人)入会金:10,000円
年会費:20,000円/1口
(個人)入会金:5,000円
年会費:5,000円/1口

編集後記

北九州テクノサポート通信のページを倍増し、内容を充実させました。地域の企業・大学・行政等の活動内容が出来るだけ分かりやすくするよう努力しました。会員並びに地域の中小企業・行政機関の方にも広く「北九州テクノサポート」をご利用下さるようお願い致します。



＜詳細情報は下記ホームページから＞

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受け付中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。
技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート
会報「北九州テクノサポート通信Vol.27」

平成28年7月11日 印刷発行

●発行・編集:NPO法人北九州テクノサポート
北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8階806号室
TEL/FAX:093-873-1453 E-mail: npo-kts@npo-kts.org

■堤デザイン20160710-1500